

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		星とたんぼ（放課後等デイサービス）		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		・子ども達の般化を考えた時に、色々な職員に慣れるよう、できるだけ職員を多めに配置する。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		・アドバイスを受けた構造化については、すぐに対応できるように改善している。今後もすぐ対応を心掛けたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		・必要に応じて「個別エリア」や「カムダウンエリア」を設けている。今後も必要に応じて、で良いと思っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		・毎日全員でPDCAサイクルの取り組みに参加している。今後も継続。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		・保護者からの意見を大切に、改善に努めている。ご意見ボックスを定期的に確認する。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		・一年に一度の、このアンケートだけではなく、日ごろの反省会や会議で出た意見について、すぐに改善に努めている。今後も同様。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				・第三者による外部評価は行っていない。今後検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・研修を受ける回数がたくさんある。様々な研修を受けることができています。 ・講師の先生方によるコンサル、各種勉強会が多く、専門性を高めることができる。	・研修の機会は、とても多く、全員が学べる環境にある。経費はかかるが大切なことなので今後も続けていきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		・ホームページに掲載している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		・担当のみでなく、色々な支援者が評価、支援する中で気づきや意見などを支援計画に入れている。今後も一人で抱え込まないことが大切と考える。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		・同上	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		・課題取り組みシートに個別支援計画の内容を入れ込み、他の人がいつでも見て、支援できる体制を作っている。今後も同様。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		・氷山モデル、行動分析（ABC分析）等々フォーマルなシートも使いながら、子ども達の理解に努めている。評価については今後も学びを続けたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		・個別支援計画作成時に、一人ひとり考えて設定している。今後も一人一人に合った支援計画を考えていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		・今後も一人で考えない、チームで考える姿勢を大切にしていきたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・毎回スケジュールを変えている。	・発達障害の子どもたちなので、特に、毎回違う事をするようにしている。（こだわりやパターンを好むため）同じことなら楽ではあるが、今後も特性を考え、毎回違う事を考えていきたい。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・ワーク、小集団、運動、クッキングなど、状況に応じて組み合わせることができる。	・基本は個別ワーク、その他に集い、運動、クッキング等は小集団で行っている。今後も同様。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		・放デイだけではなく、児発との共有も朝礼の中でし、事業所として共有している。今後も続けていきたい。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		・反省会も同様。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		・詳しい記録を毎回取っている。今後も子どもを包括的に理解するためには必要と感ずるので、続けていきたい。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		・小さい内から「自分で決める」という事に少しずつ取り組んでいる。今後も続けていきたい。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		・ここは強みであると感じている。今後もこの連携は続けていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	・専門の先生に来ていただき、療育の様子を見てもらった後にアドバイスもらうことができている。	・コンサルテーションに3回入っていただき、専門的なアドバイスをもらっている。また、各種勉強会、実践研修にも参加し、個々のスキルアップに努めている。これからも、学びはずっと続けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・子ども同士の直接の活動が難しくければ、していることを紹介するのも連携の一つになるのではないと思う。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		・毎回、必ず保護者と話し合う時間を設けている。「家庭との協働」を心掛けている。ここは今後も続けていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・親の会や研修等を知らせているが、参加が難しいことが多い。	・年3回の親の会を開催し、勉強会、グループディスカッション、先輩の保護者から話を聴こう！等を企画、実践している。これからも続ける。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		・保護者からの聞き取り、情報シート等を参考に、意向をできるだけ踏まえて立案している。今後も同様。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・療育後の話の時間に、様子を伝えるとともに、家や学校の様子を聞き、一緒に考えていくようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしている	6	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		・必ず鍵付きの書棚に保管している。どんどんしよつ類は増えるが鍵付きの書棚を増やして対応したい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		・その保護者により、伝え方を変えている。子どもも違えば、家族も一人ひとり違う事を頭に入れて。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	・放デイの夏祭りにご近所の方を招待した。また、クッキングで作ったものを子どもたちが届けたりしている。	・夏祭り、敬老の日、等行事ごとに交流を持った。今後も地域との関わりは大切にしていきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		・いつも見える所にマニュアルを置いている。今後もそうしていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		・毎月、色々なことを想定して、訓練を行っている。今後も継続。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		・ヒヤリハットは、その日に必ず、反省会であげ、共有し、対応はすくしている。今後も続けていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		・必ず年に3回は研修を行っている。来年度の計画にも入れている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		・同上	